



奥久慈アートフィールド

「水郡線 奥久慈アートフィールド2022」がはじまります！

3名のアーティストによる水郡線奥久慈エリアを舞台にした作品展示

茨城県大子町とJR東日本水戸支社は、アートによる水郡線の利用促進と大子町の活性化を目的に、大子町を中心とした水郡線奥久慈エリアを舞台として、アーティストが大子町に滞在しながら創作活動や作品の展示を行う、アートプロジェクト「水郡線 奥久慈アートフィールド2022」を開催します。昨年に引き続き2回目のアートプロジェクトです。

1. 展示アート作品・製作アーティストについて

展示期間 2022年10月22日(土)～2023年1月15日(日)

しどう

私道かび『駅のこえ』

(駅ごとに制作した物語の音声アート)

水郡線を舞台として地元の方にリサーチをした内容を元に歴史や自然を題材にした一人語りの台詞を書き起こし、それを駅舎内で再生する体験作品。

展示場所

西金駅、上小川駅、袋田駅、常陸大子駅、下野宮駅

コメント

「駅の待合室内で『居合わせた誰かの声が、たまたま聞こえて来た』という体感をしてください」

リサーチの様子



【再生予定作品（一部抜粋）】

「正直言うとね、もう乗り飽きているくらいなんだけど、でもよく見ると車窓は毎日絶対に違う。春のときには水戸から大子にかけて順々に桜のつぼみが開いていってね。桜前線が南からやってきているのがわかる。秋はまた逆で、大子の方から葉っぱが色づき出すのがわかる。四季が土地に浸透していつるのが見えるって、すごいことだなと思いますよ。」

ふじむらのりゆき

藤村憲之『呼吸する水郡線』

(作品ごとに異なる光によるアート)

都市が失った「夜の闇」という空間資源を持つ奥久慈エリアにて、闇を光の生える巨大空間と捉え人々の呼吸を光として浮かび上がらせる「呼吸する水郡線」を制作。

展示場所

上小川駅、袋田駅(駅前)、常陸大子駅、下野宮駅

コメント

「夜に大子町がとっぷり浸かる暗闇を生かしてここに暮らす人々と風景の繋がりを作り出す作品です。」

常陸大子駅前設置テストの様子



上小川駅ホーム待合室設置テストの様子



ちば まどか

千葉麻十佳『地球をみつける』

(映像展示と作品探検型アート)

石から地球を感じる作品。ドローンでの空撮映像や石が溶ける映像・写真を展示。駅にあるヒントを基に町を冒険し作品を探す探検型の作品。

展示場所

西金駅、上小川駅、袋田駅、常陸大子駅、下野宮駅
町内某所(探検型作品の為非公開)

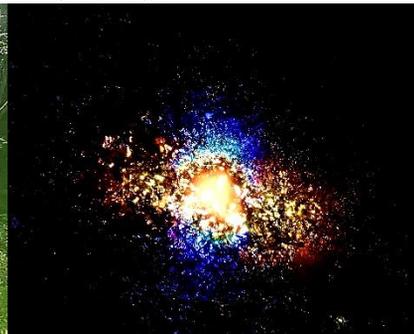
コメント

「石を探しながら大子町を歩くことで、町の見え方や自然の見え方が変わってくるでしょう。」

石を溶かしている様子



石が溶けている様子



2. 特別企画・イベントなど

(1) アート作品展示駅 スタンプラリー

展示会場 6カ所(西金駅、上小川駅、袋田駅、常陸大子駅、下野宮駅、町内某所)中 3カ所のスタンプを集めた方先着600名にオリジナルバッグをプレゼント。

(上小川駅・常陸大子駅の改札口にて台紙を提示のうえ引換え)

3ヶ所のスタンプを集めた方で、スタンプ台紙に付属の専用はがきで応募をすると抽選で町内施設の宿泊券(3組)、特産品(10名)をプレゼント。

6ヶ所全てのスタンプを集めて応募した方はさらに、特別賞への応募が可能。

※特別賞の詳細は専用ページでお知らせします。サイトURL <http://okukujiaartfield.jp>

スタンプラリー台紙



オリジナルバッグ



ポスター



フォトスポットイメージ



うるしの森



(2) フォトスポットの設置およびワークショップの実施

常陸大子駅前の観光案内所内に、大子町の「うるしの森」をモチーフにしたフォトスポットを設置します。また各アーティストによるワークショップなどのイベントも実施します。

実施予定イベント

- ① 私道かび 「まちあるきで大子の町を再発見!しよう」 11月20日(日)
- ② 千葉麻十佳 「海底火山についてのワークショップ」 10月23日(日)
- ③ 藤村憲之 「『呼吸する水郡線』体験イベント」 11月19日(土)、12月17日(土)

※ その他イベント詳細、参加予約は「水郡線 奥久慈アートフィールド2022」公式HPからご確認ください。

サイトURL <http://okukujiaartfield.jp>

(3) 情報発信

① パンフレットの製作

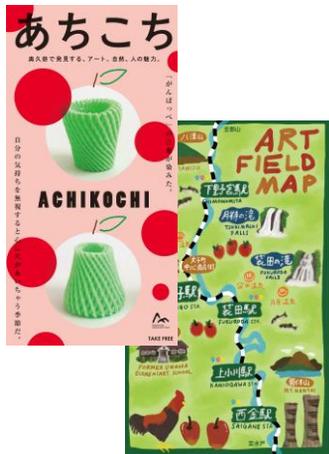
県外や周辺地域から大子町にお越しいただくことを目的にアートフィールドや大子町の魅力を伝えます。

配布箇所 | 大子町各所、一部JR駅、プレイアトレ土浦、アトレ取手、首都圏エキナカ・エキソトで実施予定の茨城県産品販売イベント会場内 水戸芸術館やその他各地美術館、ギャラリー、各地美大や藝大 学校などを予定

② 専用SNS開設(Instagram、Twitter、専用ホームページなど)

③ 駅からの2次交通として、AIタクシー、カーシェアリングおよびレンタサイクル利用者向けに、周辺スポット情報を記載したモデルコースを作成します。

パンフレット



大子町とJR東日本水戸支社は2021年3月16日に地域活性化連携協定を締結し、水郡線と地域を活性化させる取組みを進めています。この取組みは、大子町・JR東日本水戸支社によるアートを通じた水郡線利用促進事業の一環です。